

史泉

第四十九号

石垣秘伝書成立事情の一考察……………北垣聡一郎 (1)
——加賀藩穴生役後藤氏を中心として——

日清貿易における長崎来航唐船について⑦……………松浦 章 (29)
——清代烏船を中心に——

淀川沿岸近代水利史料〔大阪府下〔右岸篇〕〕④・終……………服部 敬 (43)

昭和四十八年度史学科卒業論文題目(一部・二部・大学院)…………… (77)

史 泉

第四十七号 昭和四十八年九月

日清貿易における長崎来航唐船について (上)

——清代烏船を中心に——

……………松浦 章

式百石旗本知行所覚書……………小西愛之助

——撰津国嶋上郡高浜村北組——

天竜寺塔頭・宝徳院について……………泉 澄一

——その建立と再興——

淀川沿岸近代水利史料〔大阪府下〕
〔右岸篇〕(白)……………服部 敬

書評 『居 延 木 簡』……………大庭 脩

昭和四十七年度史学科卒業論文題目(一部・二部・大学院)

史 泉

第四十八号 昭和四十九年三月

日清貿易における長崎来航唐船について (中)

——清代烏船を中心に——

……………松浦 章

黎明期労働組合運動の特質……………松岡 文平

——『労働世界』と中国人雑居問題——

聖書和訳の先覚者 永田方正略伝……………木下 清

淀川沿岸近代水利史料〔大阪府下〕
〔右岸篇〕(白)……………服部 敬

関西大学史学会大会の御案内

関西大学史学科の創設二十五周年を記念し、左記のとおり関西大学史学会大会を開催いたします。

日時 昭和四十九年十二月七日(土)

午前十時～午後四時四十五分

場所 法文第2会議室

研究発表題目

稲美町の溜池と集落について 楠井 実

奈良盆地における中世後期の

「市」分布について 大石 幸夫

ロシアの極東政策とシベリア鉄道

インドネシアの神秘主義 中西 光治

ジャーディン・マセソン商会と

日清貿易 松浦 章

山田道にある二人の墓

中国を訪ねて 猪熊 兼勝
田中 久夫

記念講演

関大史学科二十五年の歩み 横田健一先生

「照干一隅」について 藪田香融先生

「高松塚論」批判について 有坂隆道先生

イギリス中世憲政史の課題 富沢靈岸先生

特別講演

アラブ現代史の課題 東京大学 板垣雄三先生

なお、大会終了後に法文第1会議室にて懇親会を催しますので、御参加下さい。会費は千円。

あとがき

◇文学部に史学科が開設されたのは昭和二十四年であるから、本年でちょうど二十五年、四半世紀を経過したことになる。『史泉』も昭和二十六年に創刊され、本号で第四十九号に達した。そこで、次の第五十号は、広く卒業生各氏に原稿をつのって、史学科二十五周年記念の特集号とすることとなった。すでに二十教編の力作が寄せられているので、大いに期待していただきたい。ただし、最近の異常な物価騰貴と本会の財政難の現実を眼前にして、その刊行には甚だ苦慮を重ねている。

◇考古学研究室等の移転 考古学の研究室や陳列室は長らく図書館三階にあって不便をかこっていたが、四月、大学院学舎の改築完成にともない、その四階の一フロアを専有することになった。研究室・資料室・収蔵庫・写真室・作業室などを有し、従来より格段の広さとなったが、なお狭隘の感がある。

◇宇田米夫教授 四月一日羽田を発ち、アメリカのボストン大学MITを主として、アメリカおよびカナダの各地をまわり、ホノルル経由で、五月一日無事帰国された。

◇有坂隆道教授 関西大学在外研究員として四月三日羽田を発ち、主にオランダのライデン大学日本学研究センターのフォス教授のもとに滞在して日蘭交渉史の研究を深め、ベルギー、フランス、イギリス、スイス、イタリア、オーストリア、西ドイツ、デンマークを巡って、九月二十七日無事帰国された。その見聞の一端は、十一月十一日午後一時からの文学部主催の講演会で語られる予定。

◇網干善教教授 卒業生・在学生ら二十五名からなる韓国古代遺跡調査団をひきいて、七月四―十八日の間、韓国各地の遺跡や博物館をまわり、ソウル大学、梨花女子大、成均館大、麗南大、慶北大などを訪ね、また国立中央教育研究院の招待を受けられた。この調査団には、大庭脩教授や、法学部の奥村郁三・高橋三知雄助教授も参加された。

◇横田健一教授 七月二十一日から二十七日まで、「毎日サーブिस」主催の一行十七名をひきいて韓国各地の史跡を巡覧された。

◇史学科同窓会の開催 毎年六月に行なわれている史学科卒業生の同窓会は、今年は六月三十日(日)に開催された。水無瀬神宮、離宮八幡宮、宝積寺(山崎の宝寺)などをまわり、大いに懇親を深めることができた。

◇関西大学古文化研究所(仮称)の建設 飛鳥川の上流、奈良県高市郡明日香村稲淵に、関西大学古文化研究所(仮称)が建設されることとなった。計画では、八七〇平方メートルの敷地に木造瓦ぶき二階建(延べ三〇〇平方メートル)を設けるもので、十月二十三日に地鎮祭を挙行し、来春三月完成の予定である。今後の活用が大いに期待される。これは昭和四十七年度教育後援会会長をされた植田正路氏が、研究所建設のために多額の資金を寄付されたことによるものである。

◇藺田香融教授 十月一日から再度、文学部長に就任されることになった。任期二カ年。

史泉 第四十九号

五百円(予30円)

昭和四十九年九月三十日発行

大阪府吹田市千里山

編集兼 発行所 関西大学史学会

振替大阪二六〇一六番

代表者 宇田米夫

印刷所 大宝印刷株式会社
京都市南区東九条西岩本町八

小山仁示編

48年6月

戦前昭和期 大阪の公害問題資料

ミネルヴァ書房
二三〇〇円

水田紀久・有坂隆道 日本思想大系第43巻

48年8月

富永仲基・山片蟠桃

岩波書店・二〇〇〇円

横田健一著 創元学術双書

48年9月

白鳳天平の世界

創元社・三二〇〇円

末永雅雄監修・網干善教ほか編

48年9月

日本古代遺跡便覧

社会思想社・三九〇〇円

末永雅雄・三品彰英・横田健一

創元古代史選書3 48年10月

神話と考古学の間

創元社・六八〇円

関西大学校友会編(横田健一・蘭田香融著)

48年10月

関西大学を築いた人々

校友会・一〇〇〇円

小山仁示編

49年3月

田淵豊吉議会議演説集(II)

関大出版広報部
二〇〇〇円

―哲人政治家の帝国議会での活動―

関西大学考古学研究室編

49年3月

谷畑古墳

榛原町教育委員会・二〇〇〇円

末永雅雄・網干善教ほか

飛鳥京跡(I)

奈良県史跡名勝天然記念物調査報告第二十六冊
奈良県教育委員会
九五〇〇円

大庭 脩編

関西大学東西学術研究所資料集刊九
49年3月

唐船進港回棹録

―近世日中交渉史料集―

鳥原本唐人風説書

関西大学東西学術研究所・四〇〇〇円

柴田 實編

日本仏教民俗基礎資料集成
中央公論美術出版
七〇〇〇円

第五巻・元興寺極楽坊編

安藤俊雄・蘭田香融

49年5月

最 澄 日本思想大系第4巻

岩波書店・二〇〇〇円

有坂隆道編

49年6月

日本洋学史の研究Ⅲ

創元社・三二〇〇円

福尾猛市郎・藤本篤著

49年7月

古文書学入門

創元社・一八〇〇円

織田武雄著

49年9月

地図の歴史―世界篇―

講談社現代新書・三九〇円

網干善教・有坂隆道・奥村郁三・高橋三知雄著

49年11月

高松塚論批判

創元社・二二〇〇円